

様式2 再生資源利用促進計画書(実施書) ー建設副産物搬出工事用ー

1.工事概要 表面(様式1)に必ずご記入下さい

建築工事において、解体と新築工事を一体的に施工する場合は、解体分と新築分の数量を区分し、それぞれ別に様式を作成して下さい。

裏面

2.建設副産物搬出計画(網掛け欄は記入不要)

現場内利用の欄には、発生量のうち、現場内で利用したものについてご記入下さい。

※住所情報は、国の施策立案等において活用させていただきますので、番地までご記載願います。

建設副産物の種類	①発生量 (掘削等) =②+③+④ 小数点第一位まで	現場内利用・減量				現場外搬出について										再生資源利用		
		現場内利用		減量化		搬出先名称		区分	施工条件	搬出先場所住所※	住所コード	運搬距離	搬出先の種類	④現場外搬出量		⑤再生資源利用促進量(注2)	促進率 (2)+(3)+(5) ① (%)	
		用途 コード *10	②利用量 小数点第一位まで	うち現場内改良分 小数点第一位まで	減量法 コード *11	③減量化量 小数点第一位まで	2ヶ所まで記入できます。3ヶ所以上にわたる時は、用紙を換えて下さい。							千1百1十1ー1	km			小数点第一位まで
資材廃棄物	コンクリート塊						搬出先1 搬出先2	公共 民間				km km		トン トン	トン トン		%	
	建設発生木材A (柱、ボードなど木製資材が廃棄物となったもの)	トン	トン	トン			搬出先1 搬出先2	公共 民間				km km		トン トン		トン	%	
	アスファルト・コンクリート塊	トン	トン	トン			搬出先1 搬出先2	公共 民間				km km		トン トン	トン トン	トン	%	
	その他がれき類	トン					搬出先1 搬出先2	公共 民間				km km		トン トン		トン	%	
建設廃棄物	建設発生木材B (立木、除根材などが廃棄物となったもの)	トン	トン	トン			搬出先1 搬出先2	公共 民間				km km		トン トン		トン	%	
	建設汚泥	トン	トン	トン		トン	搬出先1 搬出先2	公共 民間				km km		トン トン	トン トン	トン	%	
	金属くず	トン					搬出先1 搬出先2	公共 民間				km km		トン トン		トン	%	
	廃塩化ビニル管・継手	kg					搬出先1 搬出先2	公共 民間				km km		kg kg		kg	%	
	廃プラスチック (廃塩化ビニル管・継手を除く)	トン					搬出先1 搬出先2	公共 民間				km km		トン トン		トン	%	
	廃石膏ボード	トン					搬出先1 搬出先2	公共 民間				km km		トン トン		トン	%	
	紙くず	トン				トン	搬出先1 搬出先2	公共 民間				km km		トン トン		トン	%	
	アスベスト (飛散性)	トン					搬出先1 搬出先2	公共 民間				km km		トン トン		トン	%	
	その他の分別された廃棄物	トン					搬出先1 搬出先2	公共 民間				km km		トン トン		トン	%	
	混合状態の廃棄物 (建設混合廃棄物)	トン					搬出先1 搬出先2	公共 民間				km km		トン トン		トン	%	
	建設発生土	第一種 建設発生土	地山m ³	地山m ³	地山m ³			搬出先1 搬出先2	公共 民間				km km		地山m ³ 地山m ³	地山m ³ 地山m ³	地山m ³	%
		第二種 建設発生土	地山m ³	地山m ³	地山m ³			搬出先1 搬出先2	公共 民間				km km		地山m ³ 地山m ³	地山m ³ 地山m ³	地山m ³	%
第三種 建設発生土		地山m ³	地山m ³	地山m ³			搬出先1 搬出先2	公共 民間				km km		地山m ³ 地山m ³	地山m ³ 地山m ³	地山m ³	%	
第四種 建設発生土		地山m ³	地山m ³	地山m ³			搬出先1 搬出先2	公共 民間				km km		地山m ³ 地山m ³	地山m ³ 地山m ³	地山m ³	%	
浚渫土 (建設汚泥を除く)		地山m ³	地山m ³	地山m ³			搬出先1 搬出先2	公共 民間				km km		地山m ³ 地山m ³	地山m ³ 地山m ³	地山m ³	%	
合 計		地山m ³	地山m ³	地山m ³										地山m ³ 地山m ³	地山m ³ 地山m ³	地山m ³	%	

コード*10
1.路盤材 2.裏込材
3.埋戻し材
4.その他(具体的に記入)

コード*11
1.焼却 2.脱水
3.天日乾燥
4.その他(具体的に記入)

コード*12
施工条件について
1.A指定処分
(発注時に指定されたもの)
2.B指定処分(もしくは準指定処分)
(発注時には指定されていないが、
発注後に設計変更し指定処分とされたもの)
3.自由処分

【建設廃棄物の場合】
1.売却
2.他の工事現場
3.広域認定制度による処理
4.中間処理施設(アスファルト合材プラント)
5.中間処理施設(合材プラント以外の再資源化施設)
6.中間処理施設(サーマルリサイクル)
7.中間処理施設(単純焼却)
8.廃棄物最終処分場(海面処分場)
9.廃棄物最終処分場(内陸処分場)
10.その他の処分

【建設発生土の場合】
1.売却
2.他の工事現場(内陸)
3.他の工事現場(海面)
ただし、廃棄物最終処分場を除く
4.土質改良プラント(再利用先工事が決定)
5.土質改良プラント(再利用先工事が未決定)
6.ストックヤード(再利用先工事が決定)
7.ストックヤード(再利用先工事が未決定)
8.工事予定地
9.採石場・砂利採取跡地等復旧事業
10.廃棄物最終処分場(覆土としての受入)
11.廃棄物最終処分場(覆土以外の受入)
12.建設発生土受入地(公共事業の土捨て場)
13.建設発生土受入地(農地受入)
14.建設発生土受入地(民間土捨て場・残土処分場)

注2:再生資源利用促進量について
現場外搬出量④のうち、搬出先の種類
(コード*13)が
【建設廃棄物の場合】
1.~6.の合計
【建設発生土の場合】
1.~6.の合計

様式2 再生資源利用計画書(実施書) ー建設資材搬入工事用ー

表面

1.工事概要(網掛け欄は記入不要)

発注機関名

発注機関コード*1

発注担当者チェック欄

担当者

TEL

()

請負会社名

建設業許可 または 解体工事業登録

大臣 知事

号

請負会社コード*2

会社所在地

TEL FAX

()

()

記入年月日

H. 年 月 日

工事責任者

調査票記入者

工事名

工事施工場所

都 道 市 区 府 県 町 村

住所コード*4

工事種別コード*3

請負金額

千 百 十 億 億 億 億 万 万 万 万 1万円未満四捨五入

平成 年 月 日から 平成 年 月 日まで

工期

千 百 十 億 億 億 億 万 万 万 万 1万円未満四捨五入

平成 年 月 日から 平成 年 月 日まで

再資源化等が完了した年月日

平成 年 月 日

建築・解体工事のみ 右欄に記入して下さい

左記金額のうち特定建設資材廃棄物の再資源化等に要した費用

千 百 十 億 億 億 億 万 万 万 万 1万円未満四捨五入

平成 年 月 日から 平成 年 月 日まで

再資源化等が完了した年月日

平成 年 月 日

建築・解体工事のみ 右欄に記入して下さい

建築面積

延床面積

構造

使用

階数

地上 階 地下 階

1.鉄骨鉄筋コンクリート造 2.鉄筋コンクリート造 3.鉄骨造 4.コンクリートブロック造 5.木造 6.その他 1.居住専用 2.居住産業併用 3.事務所 4.店舗 5.工場、作業所 6.倉庫 7.学校 8.病院診療所 9.その他

2.建設資材利用計画

注:コード*5~9は下記欄外のコード表より数字を選んで下さい。

※住所情報は、国の施策立案等において活用させていただきますので、番地までご記載願います。

※解体工事については、建築面積をご記入いただかなくても結構です。

建設資材（新材を含む全体の利用状況）					左記のうち、再生資材の利用状況（再生資材を利用した場合に記入して下さい）↓								再生資源
分類	小分類 コード*5	規格	主な利用用途 コード*6	利 用 量(A) 小数点第一位まで	再生資材の供給元施設、工事等の名称	供給元 種類 コード*7	施工条件 内容 コード*8	再生資材の供給元場所住所※	住所コード *4	再生資材の名称 コード*9	再生資材利用量(B) 小数点第一位まで (注1)	利用率 B/A×100	
特定建設資材	コンクリート			トン							トン	%	
				トン							トン	%	
	合 計			トン							トン	%	
	コンクリート 及び鉄から 成る建設資 材			トン							トン	%	
				トン							トン	%	
	合 計			トン							トン	%	
	木 材			トン							トン	%	
				トン							トン	%	
	合 計			トン							トン	%	
	アスファルト 混合物			トン							トン	%	
			トン							トン	%		
合 計			トン							トン	%		
その他の建設資材	土 砂			締めm ³							締めm ³	%	
				締めm ³							締めm ³	%	
	合 計			締めm ³							締めm ³	%	
	砕 石			m ³							m ³	%	
				m ³							m ³	%	
	合 計			m ³							m ³	%	
	塩化ビニル管 ・継手			kg							kg	%	
				kg							kg	%	
	合 計			kg							kg	%	
	石膏ボード			トン							トン	%	
				トン							トン	%	
	合 計			トン							トン	%	
	その他の 建設資材			トン							トン	%	
				トン							トン	%	
合 計			トン							トン	%		

- コード*5
コンクリートについて
1.生コン(パージン骨材) 2.再生生コン(Co再生骨材H) 3.再生生コン(Co再生骨材M) 4.再生生コン(Co再生骨材L) 5.再生生コン(その他のCo再生骨材) 6.再生生コン(Co再生骨材以外の再生材) 7.無筋コンクリート二次製品 8.その他
コンクリート及び鉄から成る建設資材について
1.有筋コンクリート二次製品 2.その他
木材について
1.木材(ボード類を除く) 2.木質ボード
アスファルト混合物について
1.粗粒度アスコン 2.密粒度アスコン 3.細粒度アスコン 4.開粒度アスコン 5.改質アスコン 6.アスファルトモルタル 7.加熱アスファルト安定処理路盤材 8.その他
土砂について
1.第一種建設発生土 2.第二種建設発生土 3.第三種建設発生土 4.第四種建設発生土 5.泥土 6.浚渫土 7.土質改良土 8.建設汚泥処理土 9.再生コンクリート砂 10.山砂、山土などの新材(採取土、購入土)
砕石について
1.クラッシャーラン 2.粒度調整砕石 3.鉱さい 4.単粒度砕石 5.ぐり石、割ぐり石、自然石 6.その他
塩化ビニル管・継手について
1.硬質塩化ビニル管 2.その他
石膏ボードについて
1.石膏ボード 2.シーリング石膏ボード 3.強化石膏ボード 4.化粧石膏ボード 5.石膏ラスボード 6.その他
その他の建設資材について
(利用量の多い上位2品目を具体的に記入して下さい)

- コード*6
アスファルト混合物について
1.表層 2.基層 3.上層路盤 4.歩道 5.その他(駐車場舗装、敷地内舗装等)
土砂について
1.道路路体 2.路床 3.河川築堤 4.構造物等の裏込材、埋戻し用 5.宅地造成用 6.水面埋立用 7.ほ場整備(農地整備) 8.その他(具体的に記入)
砕石について
1.舗装の下層路盤材 2.舗装の上層路盤材 3.構造物の裏込材、基礎材 4.その他(具体的に記入)
塩化ビニル管・継手について
1.水道(配水)用 2.下水道用 3.ケーブル用 4.農業用 5.設備用 6.その他
石膏ボードについて
1.壁 2.天井 3.その他
その他の建設資材について
(利用用途を具体的に記入して下さい)

- コード*7
再生資材の供給元について
1.現場内利用 2.他の工事現場(内陸) 3.他の工事現場(海面) 4.再資源化施設 5.土砂ストックヤード 6.その他

- コード*8
施工条件について
1.再生材の利用の指示あり 2.再生材の利用の指示なし

- コード*9
コンクリートについて
1.再生生コン(Co再生骨材H) 2.再生生コン(Co再生骨材M) 3.再生生コン(Co再生骨材L) 4.再生生コン(その他のCo再生骨材) 5.再生生コン(Co再生骨材以外の再生材) 6.再生無筋コンクリート二次製品 7.その他
コンクリート及び鉄から成る建設資材について
1.再生有筋コンクリート二次製品 2.その他
木材について
1.再生木材(ボード類を除く) 2.再生木質ボード
アスファルト混合物について
1.再生粗粒度アスコン 2.再生密粒度アスコン 3.再生細粒度アスコン 4.再生開粒度アスコン 5.再生改質アスコン 6.再生アスファルトモルタル 7.再生加熱アスファルト安定処理路盤材 8.その他
土砂について
1.第一種建設発生土 2.第二種建設発生土 3.第三種建設発生土 4.第四種建設発生土 5.浚渫土 6.土質改良土 7.建設汚泥処理土 8.再生コンクリート砂
砕石について
1.再生クラッシャーラン 2.再生粒度調整砕石 3.鉱さい 4.その他
塩化ビニル管・継手について
1.再生硬質塩化ビニル管 2.その他
その他の建設資材について
(利用量の多い上位2品目の再生資材名称を具体的に記入して下さい)

注1:再生資材利用量について
アスファルト混合物等で、利用した再生材(製品)の中に、新材が混入している場合であっても、新材混入分を含んだ再生資材(製品)の利用量を記入して下さい。

裏面にもご記入下さい

様式2 再生資源利用促進計画書(実施書) ー建設副産物搬出工事用ー

1.工事概要 表面(様式1)に必ずご記入下さい。

2.建設副産物搬出計画(網掛け欄は記入不要)

現場内利用の欄には、発生量のうち、現場内で利用したものについてご記入下さい。

建築工事において、解体と新築工事を一体的に施工する場合は、解体分と新築分の数量を区分し、それぞれ別に様式を作成して下さい。

裏面

住所コードの記載忘れに注意してください。

※住所情報は、国の政策立案等において活用させていただきます。
ので、番地までご記載願います。

建設副産物の種類	①発生量 (掘削等) =②+③+④ 小数点第一位まで	現場内利用・減量				現場外搬出について										再生資源利用				
		用途 コード *10	②利用量 小数点第一位まで	うち現場内 改良分 小数点第一位まで	減量化 コード *11	③減量化量 小数点第一位まで	搬出先名称 2ヶ所まで記入できます。3ヶ所以上に わたる時は、用紙を換えて下さい。	区分 どちらかに○を 付けて下さい	施工条件の 内容 コード *12	搬出先場所住所* 住所コード *13	搬出先 の種類 コード *13	④現場外搬出量 小数点第一位まで	うち現場内 改良分 小数点第一位まで	⑤再生資源 利用促進量 (注2)	促進率 (②+③+⑤) ① (%)					
資材 特定 建設 廃棄物	コンクリート塊	20	トン	トン		搬出先1 株式会社〇〇	公共(民間)	3	山口県山口市〇〇△△番地〇	3 5 1 5 1 0 2	1 1 1 1 1 km	5	20	トン	0	トン	20	トン	100.0	%
	建設発生木材A (柱、ボードなど木 製資材が廃棄物とな ったもの)	トン	トン	トン		搬出先1	公共(民間)				トン			トン			トン		%	
	アスファルト・ コンクリート塊	165	トン	トン		搬出先1 株式会社〇〇合材工場	公共(民間)	3	山口県山口市〇〇△△番地〇	3 5 1 5 1 0 2	1 1 1 1 1 km	4	165	トン	0	トン	165	トン	100.0	%
		トン	トン	トン		搬出先2	公共(民間)				トン			トン			トン		%	
建設 廃棄物	その他がれき類	トン				搬出先1	公共(民間)				トン			トン			トン		%	
		トン				搬出先2	公共(民間)				トン			トン			トン		%	
	建設発生木材B(立 木、除根材などが廃 棄物となったもの)	10	トン	トン		搬出先1 株式会社××木材	公共(民間)	3	山口県山口市〇〇△△番地〇	3 5 1 5 1 0 2	1 1 1 1 1 km	5	2	トン			2	トン	20.0	%
		トン	トン	トン	トン	搬出先2 有限会社□□	公共(民間)	3	山口県山口市〇〇△△番地〇	3 5 1 5 1 0 2	1 1 1 1 1 km	7	8	トン				トン		%
	建設汚泥	トン	トン	トン	トン	搬出先1	公共(民間)				トン			トン			トン		%	
		トン	トン	トン	トン	搬出先2	公共(民間)				トン			トン			トン		%	
	金属くず	トン				搬出先1	公共(民間)				トン			トン			トン		%	
		トン				搬出先2	公共(民間)				トン			トン			トン		%	
	廃塩化ビニ ル管・継手	トン				搬出先1	公共(民間)				トン			トン			トン		%	
		トン				搬出先2	公共(民間)				トン			トン			トン		%	
	廃プラスチック (廃塩化ビニル 管・継手を除く)	トン				搬出先1	公共(民間)				トン			トン			トン		%	
		トン				搬出先2	公共(民間)				トン			トン			トン		%	
	廃石膏ボード	トン				搬出先1	公共(民間)				トン			トン			トン		%	
		トン				搬出先2	公共(民間)				トン			トン			トン		%	
建設 発生土	紙くず	トン			トン	搬出先1	公共(民間)				トン			トン			トン		%	
		トン				搬出先2	公共(民間)				トン			トン			トン		%	
	アスベスト (飛散性)	トン				搬出先1	公共(民間)				トン			トン			トン		%	
		トン				搬出先2	公共(民間)				トン			トン			トン		%	
	その他の分別さ れた廃棄物	トン				搬出先1	公共(民間)				トン			トン			トン		%	
		トン				搬出先2	公共(民間)				トン			トン			トン		%	
	混合状態の廃棄 物(建設混合廃 棄物)	トン				搬出先1	公共(民間)				トン			トン			トン		%	
		トン				搬出先2	公共(民間)				トン			トン			トン		%	
	第一種 建設発生土	55	4 路体	55	地山m ³	地山m ³	0	地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³	100.0	%
	第二種 建設発生土	1800	3	110	地山m ³	地山m ³	0	地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³	6.1	%
第三種 建設発生土	地山m ³			地山m ³	地山m ³		地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³		%	
第四種 建設発生土	地山m ³			地山m ³	地山m ³		地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³		%	
浚渫土 (建設汚泥を除く)	地山m ³			地山m ³	地山m ³		地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³		%	
合計	1855		165	地山m ³	地山m ³	0	地山m ³	地山m ³	地山m ³	1690	地山m ³	0	地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³	8.9	%	

コード*10

1.路盤材 2.裏込材
3.埋戻し材
4.その他(具体的に記入)

コード*11

1.焼却 2.脱水
3.天日乾燥
4.その他(具体的に記入)

コード*12

施工条件について

1.A指定処分
(発注時に指定されたもの)
2.B指定処分(もしくは準指定処分)
(発注時には指定されていないが、
発注後に設計変更し指定処分とされたもの)
3.自由処分

コード*13(詳細は表11参照のこと)

【建設廃棄物の場合】

1.売却
2.他の工事現場
3.広域認定制度による処理
4.中間処理施設(アスファルト合材プラント)
5.中間処理施設(合材プラント以外の再資源化施設)
6.中間処理施設(サーマルリサイクル)
7.中間処理施設(単純焼却)

8.廃棄物最終処分場(海面処分場)
9.廃棄物最終処分場(内陸処分場)
10.その他の処分

【建設発生土の場合】

1.売却
2.他の工事現場(内陸)
3.他の工事現場(海面)
ただし、廃棄物最終処分場を除く
4.土質改良プラント(再利用先工事が決定)
5.土質改良プラント(再利用先工事が未決)
6.ストックヤード(再利用先工事が決定)

7.ストックヤード(再利用先工事が未決定)
8.工事予定地
9.採石場・砂利採取跡地等復旧事業
10.廃棄物最終処分場(覆土としての受入)
11.廃棄物最終処分場(覆土以外の受入)
12.建設発生土受入地(公共事業の土捨て場)
13.建設発生土受入地(農地受入)
14.建設発生土受入地(民間土捨て場・残土処分場)

注2:再生資源利用促進量について

現場外搬出量④のうち、搬出先の種類
(コード*13)が

【建設廃棄物の場合】
1.~6.の合計

【建設発生土の場合】
1.~6.の合計

現場外搬出量の多い上位2品目を具体的に記入してください